



おおこうづ 大河津分水路

大河津分水路は洪水が越後平野を流れる前に日本海に信濃川の水を流し出す人工的な河川です。この大河津分水路により下流域の治水安全度は飛躍的に向上し、新潟市の発展に大きく寄与するとともに、越後平野を日本有数の穀倉地帯へと変えました。しかし、河口部は洪水を安全に流下させるための川幅が不足しており、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるためにも、改修が続けられています。



かまがふちえんてい 釜ヶ淵堰堤

釜ヶ淵堰堤は、信濃川上流の梓川において、戦中に竣工された国内でも最大級の石積みアーチ式砂防堰堤です。

本施設は、直上流に存在する焼岳からの火山噴出物の流出をコントロールし、上高地の代表的景観の一つである大正池を守り、松本平をはじめとする信濃川流域を土砂災害や洪水氾濫の脅威から守っています。

近年、老朽化が進んだ箇所への補修を実施し、75年経った今でも現役の施設として活躍しています。



未来の安全・安心をつくる

洪水や土砂災害などの自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守る河川事業。

このうち、北陸地方整備局では多くの人の生命と財産を守るため、特に重要な河川を担当し、地域の安全・安心、発展を支えています。

砂防 土砂災害から地域を守る“北陸地方整備局の砂防”

北陸地域は豊かな自然に恵まれている一方、急峻な地形、脆弱な地質を有しています。このような地形条件のもと、北陸地方整備局では、数多くの砂防事業を行い、豪雨による土砂流出より地域を守っています。



土木 信濃川河川事務所 計画課 企画係長
若杉 康夫 平成19年度採用

大河津分水路は、信濃川上・中流の洪水を日本海へ直接放流し、下流域の越後平野を水害から守ることを目的として、約100年前に建設された人工河川ですが、河口部において洪水を安全に流すための川幅の不足などから、抜本的な改修事業を実施しています。私は、事業を効率的・効果的に実施するための企画・調査業務を担当しており、近年、災害が激甚化する中、事業に対する地域の期待も大きく、一日でも早い完成に向けて、日々奮闘しています。先人の功績を受け継ぎ、未来へ向けて地域の人々の安全安心を確保するこの大事業に携われることに、大きな使命とやりがいを感じています。



土木 松本砂防事務所 調査課 火山対策係長
杉崎 亮太 平成17年度採用

北陸地方整備局では、土石流や土砂・洪水氾濫などの土砂災害から地域の安全・安心な暮らしを守るために砂防事業を実施しています。私が所属する松本砂防事務所は、北陸地域の中でも土砂生産が著しい北アルプス山麓で砂防事業を展開しており、砂防事業をより効果的に実施するための計画の策定や、訓練等を通じて地域の人々に土砂災害に関する防災・減災の意識向上を図る取組を担当しています。近年、自然災害による被害が激甚化しており、一人でも多くの方の防災・減災の意識が高まり、安全・安心な暮らしにつながるお手伝いができることに、やりがいを感じています。



大町ダム
洪水を防ぎ下流域を災害から守る(長野県大町市)



石川海岸(松任工区)
砂浜保全により海岸侵食や高波等の被害を防止し、背後地の住民や財産を守る海岸事業(石川県白山市)



河川環境[地域に密着した河川管理]
地域の児童とともに水生生物調査を実施(富山県高岡市 小矢部川)

TOPICS

やすらぎ堤



新潟市の中心部を流れる信濃川に整備された「やすらぎ堤」では、“ミズベリング”という賑わい創出を目的とした市民・企業・行政が一体となったプロジェクトを実施しています。水辺の新しい活用方法を切り開こうという“未来に向けた改革”です。関屋出張所では、除草等の堤防管理や開催イベントの事前調整等、関係機関と密にやりとりしながら進めています。微力ながら、新たな水辺の形を作り出す壮大なプロジェクトに携わることができ、大変嬉しく、誇りに思います。



信濃川下流河川事務所 関屋出張所 管理第一係長

事務 **荒木 摩紀子** 平成17年度採用